



うんなん
ビジョン
2025-2034
第3次雲南市総合計画

うんなん
ビジョン
2025-2034
第3次雲南市総合計画



わたしは、コウノトリ。
いろんな国を旅して、
家族でしあわせに暮らせるまちを探してきた。
わたしたちは、ずっと昔から人間の近くに暮らしてきたんだ。
人間の近くは、
安心して暮らせるし、
なんといっても田んぼがあって、
そこには生き物がたくさんいるからご飯にも困らない。
最近はそんな“ちょうどいい”ところが
なかなか見つけれなかった。
そんなとき、このまちを見つけたんだ。

わたしがこのまちで 暮らすことにした理由

多様な生き物がいっぱい

わたしたちは、たくさんの種類の生き物を食べて生きている。このまちは人の近くでもいろんな生き物が暮らしていたんだ。その証拠に、ここにはたくさんのホタルが飛んでるでしょ。ホタルに聞けば、わたしたちの大好きな生き物たちがどこにいるか教えてくれるんだ。



古くから続く営み

昔、このまちは“たたら”と呼ばれる鉄づくりで、とつても発展していたらしい。砂鉄を取るために崩した山は、田んぼとして使ったり、燃料として使う木も切り尽くしてしまわないようにルールをつくっていたんだ。昔から自然と一緒に発展することを考えていたんだね。

チャレンジを支える人たち

わたしが「このまちで家族と暮らす」というチャレンジを始めたら、このまちの人たちは、大人も子どももわたしたちが暮らしやすいように、草を刈ってくれ、冬の田んぼに水を残してわたしたちが食べ物に困らないようにしてくれた。今もそれは続いている。

人にとつても“住みたい田舎”

わたしたちは人もいて自然もしっかりある場所に暮らしてきた。このまちは、豊かな自然に囲まれながら都市部までのアクセスも良くて、移住先としても注目されているらしい。これからのことを考えると、そんなまちがいいな、ってわたしは思ったの。

見えないものを大切にする

日本で一番古い歴史の本によると、この地域にはむかし怖いオロチがいて、それを神さまが倒してくれたんだって。今でもいろんな場所にその言い伝えが残ってるんだ。

しあわせや優しさ、平和や多様性とか、本当に大切なものって目に見えないものが多いよね。

10年後、わたしたちは どんな空を飛んでいるんだろう

わたしがここで暮らし始めて7年がたった2023年、
10年に一度更新されるまちの大きな計画がつくられているって聞いた。
10年後って、どんな感じなんだろう。
このまちの計画は、わたしたちコウノトリにとってもすごく重要なこと。
昔、わたしたちが日本の空を飛べなくなったときのようなことも起きるから。

